

## 1 日時

平成25年1月17日(木)～2月7日(木)

## 2 学級

第6学年1組(29名)

## 3 学級観

男女の仲がよく、何事にも前向きに挑戦できる学級である。今まで、外国語活動の時間は、「自分と人とは違う。だから、自分の思いを相手に伝えることは大切だし、相手の思いを聞くことも大切なことだ」ということを意識して授業を行ってきた。そのため、「自分の思いを相手に伝えたい。相手の話も聞きたい」という態度が育ってきている。しかし、発言力のある子、英語を得意としている子の前では、尻込みしてしまい自分の気持ちを表現できない子もいる。そのため、今回の劇づくりでは、グループを「活発に自分の意見を言える集団」「自分の意見を発表するのに消極的な集団」「英語に自信をもっている集団」などと児童の実態に合わせた編成をし、誰もが自分の思いを伝えることができたと思えるようにしたい。

## 4 単元名

Hi, friends! 2 Lesson 7 We are good friends. オリジナルの劇をつくろう

## 5 単元観

本単元では、日本の昔話である「桃太郎」の物語を英語で聞いて、物語の世界を楽しむ活動を行う。その後、それを応用してグループごとに、「オリジナル桃太郎」の英語劇を考え、学級全体の前で発表する。その際、これまでに慣れ親しんだ英語表現やジェスチャーを多用し、聞いている人に伝わる工夫を考えさせたい。

また、一つの劇を創り上げるということは、その過程において、英語・日本語による友達同士での言語活動が活発に行われることになるだろう。そのやりとりのなかで、コミュニケーションを図る楽しさに気付かせたい。発表後は、「自分のせりふが英語で堂々と言えた」「友達同士で助け合って、劇を創り上げることができた」という満足感や達成感を、卒業を間近に控えた児童に味あわせたい。

## 6 単元目標

- ・積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。
- ・まとまった英語の話聞いて、内容がわかり、場面にあったセリフを言う。
- ・世界の物語に興味をもつ。

## 7 単元の評価規準

- ・世界には様々な物語があることに気付いている。
- ・まとまった話を聞いている。
- ・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。
- ・相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりしている。

## 8 使用する語彙や表現

dog, monkey, bird, peach, boy, Grandpa, Grandma

We are strong and brave. We are good friends.

\*その他、2年間慣れ親しんできた語彙や表現の中から、児童自身が選択した語彙や表現

9 単元計画（6時間）

| 時           | 目標と主な活動   | 評価 |   |   |   |
|-------------|---|----|---|---|---|
|             |   | コ  | 慣 | 気 |   |
| 1           | <p>世界の様々な物語に興味をもつ。</p> <p>【P】「だれがかくれているか、さがそう。」誌面の絵から様々な物語の登場人物を探す。</p> <p>【L】「お話を聞こう。」1回目 p. 29 まで</p> <p>【L】「お話を聞こう。」2回目（単語）</p> <p>○「ポインティングゲーム」（単語編）</p>  |    |   | ○ | <p>・世界には様々な物語があることに気付いている。&lt;行動観察・振り返りカード分析&gt;</p>  |
| 2           | <p>まとまった話を聞いてそのあらすじがわかる。</p> <p>【L】「お話を聞こう。」3回目（strong の回数）</p> <p>【L】「お話を聞こう。」4回目（ジェスチャーつき）</p> <p>○「ポインティングゲーム」</p> <p>○「はえたたきゲーム」</p> <p>【C】“We are good friends.”（ゆっくり）</p>   |    |   | ○ | <p>・まとまった話を聞いている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p> <p>○</p> <p>・まとまった話を聞いている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>  |
| 3           | <p>まとまった話を聞いてそのあらすじがわかり、様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○「ウィスパーゲーム」</p> <p>【C】“We are good friends.”（ゆっくり）</p> <p>【L】「お話を聞こう。」5回目（strong, brave）</p> <p>【A】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」グループで登場人物を考えて、オリジナルの物語をつくる。</p> |    |   | ○ | <p>・まとまった話を聞いている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p> <p>○</p> <p>・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p> |
| 4<br>・<br>5 | <p>様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>（【C】“We are good friends.”）</p> <p>【A】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」グループで登場人物を考えて作った物語を演じる練習をする。</p>  |    |   | ○ | <p>・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>  |
| 6           | <p>セリフに込められた思いが相手に伝わるように、積極的に英語やジェスチャーを使って伝えたり、友達の発表を聞こうとしたりする。</p> <p>【C】“We are good friends.”</p> <p>【A】「オリジナルの物語をつくって演じよう。」グループで登場人物を考えて作った物語を交流する。</p>   |    |   | ○ | <p>・相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりしている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>  |

## 10 各時間の指導案

### 第1時

目標 世界の様々な物語に興味をもつ。

| 児童の活動  | 指導者の活動   | 準備物                                    |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> </ul>   |  |
| <p>【Let's Play】 p. 26, 27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誌面の絵にあるもので、英語で言えるものを発表する。</li> <li>・どんな登場人物や動物がいるか探して発表する。</li> <li>・教師用絵カードで、どんな物語が誌面に隠れているか確認する。</li> <li>・担任とALTのやりとりを聞いて、それがどの物語のことか考える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誌面 p. 26, 27 の絵を見て、英語で言えるものを発表させる。</li> <li>・どんな人物や動物がいるか探させながら、それらがどんな物語の登場人物か考えて発表させる。児童の発表にあわせて、教師用絵カードを貼る。</li> <li>・「白雪姫」「浦島太郎」「鶴の恩返し」「大きなかぶ」「赤ずきん」の物語を聞かせ、それがどの物語のことか尋ねる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※評価</p> | <p>教師用絵カード<br/>(様々な物語)<br/>デジタル教材</p>  |
| <p>【Let's Listen】 p. 28 ~29</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を聞く。p. 28 ~ 29&lt;1回目&gt;<br/>担任とALTのやりとりを見ながら、何の物語か想像する。</li> <li>・物語を聞く。p. 28 ~ 36&lt;2回目&gt; (単語)<br/>誌面を閉じ、大型テレビを見ながら<u>何度も聞こえる単語を意識して</u>、音声教材で物語を聞く。</li> <li>・聞こえた単語を発表する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を聞かせる。&lt;1回目&gt;<br/>ジェスチャーを交えながら、物語を聞かせる。桃太郎が生まれる場面だけ、絵カードを使う。</li> <li>・物語を聞かせる。&lt;2回目&gt;<br/>聞かせる前に、<u>どんな単語が何度も聞こえるか意識して</u>聞くよう指示する。→ strong, friend</li> </ul>  | <p>教師用絵カード<br/>(桃太郎場面絵)<br/>デジタル教材</p> |
| <p>○ポインティングゲームをする。(単語編)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誌面 p. 28 ~ 36 から、担任やALTが言う語の絵を探して、さし示す。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誌面 p. 28 ~ 36 を使って、ポインティングゲームをすることを告げる。</li> <li>・a big peach, kibi dango, a dog, など児童が聞こえた単語を言い、児童にそれがあつた誌面を開かせ、さし示させる。</li> </ul>  | <p>教師用絵カード<br/>(桃太郎場面絵)<br/>デジタル教材</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を一生懸命聞こうとする態度などよかつたところをほめる。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>   | <p>振り返りカード</p>                         |

#### 評価規準

- ・世界には様々な物語があることに気付いている。【気】 <行動観察・振り返りカード分析>

## 第2時

目標 まとまった話を聞いてそのあらすじがわかる。

| 児童の活動   | 指導者の活動  | 準備物     |
|---|---|---------|
| ・挨拶をする。   | ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。  |         |
| ○登場人物を確認する。<br>・登場人物のセリフを聞いて、誰のことなのか想像する。絵カードで確認して、Momotaro. I am Momotaro. などと言う。                  | ・登場人物のセリフを言う。<br>・絵カードを見せ、登場人物の確認をさせる。  | 教師用絵カード |
| 【Let's Listen】 p. 26 ~ 36<br>・物語を聞く。＜3回目＞ (strong)<br>デジタル教材を聞きながら、strong が何回聞こえたか数える。              | ・聞かせる前に、前回の授業で何回も繰り返し聞こえた言葉は何か思い出させ、strong と結びつけさせるようにする。<br>※評価  | デジタル教材  |
| 【Let's Listen】 p. 26 ~ 36<br>・物語を聞く。＜4回目＞<br>・担任が絵カードやジェスチャーを使いながら場面ごとに話をするのを聞いて、同じようにフレーズを繰り返す。    | ・意味を理解させるために、絵カードやジェスチャーを使いながら、聞かせる。<br>・様子を見て、担任が桃太郎役、代表児童が動物役等となり、セリフのやりとりを見せる。                         | 教師用絵カード |
| ○ポインティングゲームをする。<br>・指導者が言うセリフを聞いて、誌面 p. 28 ~ 36 から、そのセリフを言っている絵を探してさし示す。                            | ・誌面 p. 28 ~ 36 を使って、ポインティングゲームをすることを告げる。<br>・練習したセリフを言い、児童に誌面からそのセリフを言っている場面を探して、さし示させる。<br>・場面絵カードで確認する。 | 教師用絵カード |
| ○はえたたきゲーム<br>・教師が話すフレーズを聞き、それを示す絵カードをグループの代表者が選ぶ。<br>・最初に絵カードにタッチできたグループは、班員全員で、教師が言ったフレーズを繰り返して言う。 | ・わざと小さな声で言ったり、ジェスチャーだけでどの場面か想像させたりする。<br>・グループ内で相談してもよいことを伝える。<br>※評価                                     | 教師用絵カード |
| 【Let's Chant】 “We are good friends.”<br>p. 37 (ゆっくり)<br>・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。                        | ・最初はひとつずつフレーズを区切って言わせるようにする。<br>・慣れてきたら、デジタル教材に戻り、一緒に言う。  | デジタル教材  |
| ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。<br>・挨拶をする。  | ・児童の英語を一生懸命聞こうとする態度などであったところをほめる。<br>・挨拶をする。  | 振り返りカード |

### 評価規準

・まとまった話を聞いている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

### 第3時

目標 まとまった話を聞いてそのあらすじがわかり、様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現に慣れ親しむ。

| 児童の活動  | 指導者の活動  | 準備物   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> </ul>  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ウィスパークゲームをする。</li> <li>・列の先頭の児童がフレーズを聞き、後ろに順にフレーズを伝えていく。列最後の児童が黒板に貼ってある教師用絵カード(場面絵)から、伝言されたフレーズを言い、その場面の絵を選らぶ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なフレーズや長いフレーズを児童の実態に合わせて選ぶ。</li> </ul>   | 教師用絵カード(桃太郎場面絵)   |
| <p>【Let's Chant】 “We are good friends.”<br/>p. 37 (ゆっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声教材を聞かせ、一緒に言う。</li> <li>・チャンツ終了後に、strong や brave という単語はどんな意味だと思うか尋ねる。</li> </ul>   | デジタル教材  |
| <p>【Let's Listen】 p. 28 ~ p. 36</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を聞く。＜5回目＞ (strong, brave) デジタル教材を聞きながら、どういう場面で brave を使っているか考えながら聞く。</li> <li>・物語の内容やセリフの言い回しから、strong と brave, それぞれの意味や違いを推測して発表する。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を聞かせる。＜5回目＞聞かせる前に、どういう場面で strong や brave が使われているか意識して聞くよう指示する。聞き終わったら、発表させる。</li> <li>・strong (力強い, 壮健な, 丈夫などの意) と brave (困難に出合って恐れぬ, 勇敢な, 勇ましいなどの意) はどのような意味だと思うかを尋ねる。正解を求めるのではなく、児童の想像力を大切に。<br/>※評価①</li> </ul>  | 教師用絵カード(桃太郎場面絵)<br>デジタル教材                                   |
| <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで登場人物を工夫して、オリジナルの物語をつくる。</li> <li>・約束事を守って物語をつくる。</li> <li>・これまでの外国語活動の授業で慣れ親しんだ語や表現を取り入れながら、セリフを決めたり、練習したりする。</li> <li>・オリジナル登場人物や流れ、伝えたいメッセージを、ワークシートに書く。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでオリジナル桃太郎物語をつくり、発表することを告げる。つくるに当たって以下のことを約束にする。<br/>※評価②</li> <li>①グループで配役をし、全員がセリフを言う場面をつくる。</li> <li>②この物語の strong, brave, friends という言葉を大切にし、登場人物を工夫する。</li> <li>③何か事件が起きた→We are very happy. で終わる内容にする。</li> <li>④聞いている人にわかるような、セリフの言い方やジェスチャーを工夫する。</li> <li>⑤1グループの発表は4分以内にする。</li> <li>・今まで慣れ親しんできた表現を、その表現を扱った際の絵カード等を示しながら確認する。</li> </ul> | 英語ノート1<br>これまでで使用した絵カード等<br>これまでで使用したワークシート等<br>約束事を記載した掲示物 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>   | 振り返りカード   |

#### 評価規準

①まとまった話を聞いている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

②様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするよう命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。【慣】＜行動観察・振り返りカード点検＞

#### 第4・5時

目標 様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするように命令したり、促したりする表現に慣れ親しむ。

| 児童の活動  | 指導者の活動  | 準備物     |
|--|---|---------|
| ・挨拶をする。  | ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。  |         |
| <b>【Let's Chant】</b> “We are good friends.”<br>p. 37 (ふつう)<br>・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。   | ・音声教材を聞かせ、一緒に言う。  | デジタル教材  |
| <b>【Activity】</b> p. 37<br>・グループでオリジナル物語の練習をする。<br>・鑑賞カードに書かれている項目を参考にし、互いの発表を見合った際に、他のグループのよい点や改善点を見つけ、自分のグループの参考にする。<br>・友達のグループの発表を聞いて、ほめ言葉カードを見せながら、Great!, Super!などと言う。 | ・児童が自由に音声教材を聞けるように、デジタル教材を複数用意しておく。<br>・How do you say ～? という表現を紹介し、わからない単語や表現は担任や ALT に聞かせるようにする。<br>・各グループを回り、進捗状況を把握するとともに、セリフやジェスチャーなどのアドバイスをする。<br><div style="text-align: right;">※評価</div> | デジタル教材  |
| ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。<br>・挨拶をする。   | ・各グループでの様子をとらえて、よかったところなどをほめる。<br>・挨拶をする。   | 振り返りカード |

#### 評価規準

- ・様子や要求を表したり尋ねたりする表現や、誰かに何かするように命令したり促したりする表現を聞いたり言ったりしている。**【慣】** <行動観察・振り返りカード点検>

## 第6時

目標 セリフに込められた思いが相手に伝わるように、積極的に英語やジェスチャーを使って伝えたり、友達の発表を聞こうとしたりする。

| 児童の活動   | 指導者の活動   | 準備物     |
|---|--|---------|
| ・挨拶をする。   | ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。   |         |
| <b>【Let's Chant】</b> “We are good friends.”<br>p. 37<br>・音声教材を聞き、リズムに合わせて言う。  | ・音声教材を聞かせ、一緒に言う。   | デジタル教材  |
| <b>【Activity】</b> p. 37<br>・各グループがオリジナル劇を発表する。<br>・発表を鑑賞するグループは、発表の後、よかったところや工夫されていたところなど、感想を発表する。英語でほめ言葉で評価する。Good! Very nice! Excellent! Super! | ・各グループに順に発表させる。<br>・グループの劇が終わったときは、拍手しながら Good! や Excellent! などのほめ言葉を使って、評価するように促す。<br>・発表後は、鑑賞した他のグループによかったところや工夫されていたところなどの感想を発表させる。 ※評価 |         |
| ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。<br>・挨拶をする。  | ・各グループの発表内容、セリフの言い方などによかったところ、工夫されていたところなどについてコメントを言う。<br>・挨拶をする。  | 振り返りカード |

### 評価規準

- ・相手意識をもってまとまった話を聞いたり伝えたりしている。【コ】 <行動観察・振り返りカード点検>